

## 4 フェールオーバーとリカバリ

この章は、次の内容で構成されています。

- 「フェールオーバー」 (P.xxxix)
- 「リカバリ」 (P.xxxix)

### フェールオーバー

ネットワークがフェールオーバーするように設定されている場合、NCM コアが失敗しても、ユーザは別の NCM コアを使用してシステムのすべてのデータに引き続きアクセスできます。失敗した NCM コアによって元々管理されていたすべてのパーティションは、[Partition Reassignment] ページを使用して、新しい NCM コアを指すようにできます。詳細については、「[Partition Reassignment] ページ」 (P.xxxvi) を参照してください。システム リカバリの手順は、リモートサーバが失敗した状況によって異なります。

### リカバリ

次の 3 種類の基本リカバリ シナリオがあります。

- ネットワーク接続の喪失
- NCM アプリケーション サーバの喪失
- データベース サーバの喪失

#### ネットワーク接続の喪失

ネットワーク接続の喪失の場合、ネットワーク問題によりフェールオーバーが発生しました。NCM アプリケーション サーバまたは SQL サーバのデータベース サーバについて、問題は発生しませんでした。リカバリは次の手順で行われます。

- 1 ネットワークの問題を解決します。
- 2 再割り当てされたパーティションが元の NCM コアに戻るようリセットします。これは NCM で実行できます。「[Partition Reassignment] ページ」 (P.xxxvi) を参照してください。
- 3 停止中にシステムにドライバが追加された場合、[Start/Stop Services] ページの [Reload Drivers] ボタンをクリックします。この処理によって、ドライバファイルが再ロードされ、NCM メッシュの他の NCM コア全体に転送されます。この処理は、ドライバが追加された NCM サーバ上で実行する必要があります。詳細については、『*User Guide for CiscoWorks Network Compliance Manager*』を参照してください。

- 4 停止中にシステム設定が変更された場合、[Renew Config Options] ページを使用して、NCM メッシュ全体でオプションが同期されるようにしてください。「[Renew Configuration Options] ページ」(P.xxxviii) を参照してください。
- 5 NCM コアが長時間にわたって接続を失っている場合、データを同期した後に、接続が失われた NCM コア サーバを再起動します。これにより、特定のパーティション データが再ロードされ、古いデータによる例外エラーが回避されます。

ネットワークの問題が解決されると、複製によってデータベース間のデータが同期されるため、システムは回復します。

## NCM アプリケーション サーバの喪失

NCM アプリケーション サーバで NCM アプリケーションを再インストールする必要がある障害が発生した場合、次の手順でリカバリを行います。

- 1 NCM のインストール中は、[Use existing database] オプションを選択します。また、障害が発生したサーバが以前に使用していたデータベースを選択する必要があります。
- 2 *distributed.rcx* ファイルを *ReplicationScriptToolBundle* から、*appserver.rcx* ファイルが置かれているディレクトリに追加します。
- 3 パッチおよびサポート問題に関する NCM コア固有の特別な事例用のオプションを再度追加します。
- 4 NCM を再起動します。
- 5 元の NCM コアに再割り当てされたパーティションをリセットします。これは NCM で実行できます。「[Partition Reassignment] ページ」(P.xxxvi) を参照してください。
- 6 停止中にシステムにドライバが追加された場合、[Start/Stop Services] ページの [Reload Drivers] ボタンをクリックします。この処理によって、ドライバファイルが再ロードされ、NCM メッシュの他の NCM コア全体に転送されます。この処理は、ドライバが追加された NCM サーバ上で実行する必要があります。詳細については、『*User Guide for CiscoWorks Network Compliance Manager*』を参照してください。
- 7 停止中にシステム設定が変更された場合、[Renew Config Options] ページを使用して、NCM メッシュ全体でオプションが同期されるようにしてください。「[Renew Configuration Options] ページ」(P.xxxviii) を参照してください。
- 8 異なる可能性のあるすべてのパラメータが変更されるように元の NCM コアを編集します (おそらく、異なるホスト名を使用して、新しいサーバでインストールが実行されました)。
- 9 適切な NCM コアから回復した NCM コアにソフトウェア イメージ リポジトリをコピーします。

## データベース サーバの喪失

データベース サーバが失われた場合、NCM アプリケーション サーバは引き続き動作しますが、データベースにアクセスすることはできません。データベースを再構築し、データベースに複製を再度設定する必要があります。リカバリは次の手順で行われます。

- 1 失われたデータベース サーバに関連付けられているため、待機、保留、または実行停止しているように見えるすべてのタスクを一時停止または削除します。NCM メッシュにある他の NCM アプリケーション サーバでこの処理を実行できます。

- 2 失われたデータベース サーバがサブスライバの場合、NCM メッシュから複製を削除する必要があります。詳細については、「複製の削除」(P.xxix)を参照してください。複製は削除した後に再設定できます。詳細については、「2 つの NCM コア SQL サーバ複製環境の作成」(P.xv)を参照してください。
- 3 失われたデータベース サーバがパブリッシャの場合、複製を再インストールする必要があります。
  - a サブスライバのデータベースからすべての RN\_% テーブルをエクスポートします。
  - b サブスライバ データベースからエクスポートされたデータを使用して、NCM コア 1 データベース サーバに新しいデータベースを作成します。
  - c NCM コア 1 サーバに NCM を再インストールします。NCM が、NCM コア 1 の既存データベースを指していることを確認します。
  - d RN\_CORE エントリを編集します。「削除の手順」(P.xxii) (ステップ 5)を参照してください。
  - e 複製をインストールします。詳細については、「2 つの NCM コア SQL サーバ複製環境の作成」(P.xv)を参照してください。
- 4 SQL Server Agent が復元されたデータベース サーバ上で動作していることを確認します。復元されたデータベース サーバ上でコマンドプロンプトを開き、**net start** を入力します。出力に SQL Server Agent (MSSQLSERVER) が表示されます。これが表示されない場合、**net start SQL Server Agent <MSSQLSERVER>** を入力します。
- 5 再割り当てされたパーティションが元の NCM コアに戻るようリセットします。これは NCM で実行できます。「[Partition Reassignment] ページ」(P.xxxvi)を参照してください。
- 6 NCM で、回復された NCM コアを編集して、新しい設定に対してすべての情報が正しくなるようにします。詳細については、『*User Guide for CiscoWorks Network Compliance Manager*』を参照してください。

